

# 城南の風

編集・発行 城南地区まちづくり協議会総務部

篠山市小枕 城南コミュニティーセンター

TEL: 079-506-0955 FAX: 079-506-0956

ホームページ <http://www.jounan-sasayama.jp>

この会誌に記載の情報は城南まちづくり協議会ホームページにも掲載されています。

## 年頭のご挨拶

城南地区まちづくり協議会 会長 松尾与史彦



あけましておめでとうございます。

日頃、自治会長様始め各種団体、地域の皆様には、まち協の諸活動にご協力頂いていますこと感謝申し上げます。

まち協は、事業を開始して昨年末の10月で丸10年を経過しました。その間、一貫して、スローガンとして「子どもの居場所づくり、農業振興、高齢者の居場所づくり」を掲げて来ました。

当時、「居場所」と言う耳新しい言葉について私は、十分理解していなかったのを改めて「居場所」について考えてみると、どうも20年ほど前から使われるようになった言葉で、20年前は、バブルは既に崩壊していたが、そのような環境の中にあっても地域を元気にするために、地域の自主活動として多額の拠点整備費と活動費を地域づくり交付金として頂きスタートしました。その頃は、リーマンショックに代表されるように、いよいよ低成長期に入っており、その間「居場所」の意味合いも「物理的な場所」から「人々が安心して居られる心理的な要素」に大きくシフトして来たように思われます。

家庭・学校・職場・地域において生活様式・価値観・趣味の多様化に対応した取組みが求められる一方、「居場所づくり」と言わなくてもよかった大家族で1台のテレビ、自分の部屋も十分でない頃の生活様式からも学ぶこともあるのではないかと感じています。

新元号を迎えます。先人が残して下さった古くても立派なコミセン、無償で借用している保育所跡周辺を有効に活用し、体育大会等の基幹行事を盛り上げながら、ご意見を頂き、例えばフィジカルトレーニングに限らず小規模なサークル活動として参加してもらえるスポーツクラブ21の充実、更なる学校との連携等、既存組織・事業の新設や改廃を思い切っ行って、更に「人々が安心して居られる居場所づく」が出来るよう取組んで行きますので引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### “スポーツクラブ21城南”へのお誘い

城南少年野球団がスポーツクラブ21城南へ加入されてから6年ほど経過しましたが、来年度から他校区と併合し解散することになりました。40年以上続けてこられた指導者の皆様に敬意を表したいと思います。

元気な声が聞こえなくなるのは寂しいですが、新たにソフトボールの同好会が生まれようとしていますのでご加入下さい。スポーツクラブ21城南では健康につながれば何でも小集団で出来ることを提案して行きます。皆様のご意見も下さい。

(連絡先: スポーツクラブ21城南 代表 酒井清隆 090-2015-3849)

平成 30 年 11 月 18 日（日）

まち協文化部及び産業振興農業部主催の今年度文化祭・収穫祭が、秋晴れの下、城南小学校体育館で開催されました。西牧文化部長の開会のあいさつに続き、来賓代表として市名変更の住民投票及び辞任して市長選を戦っておられる酒井市長に代わり、篠山市の野々村市民生活部長からご祝辞をいただき、文化祭が始まりました。

文化祭では、合唱、詩吟、日本舞踊、民謡、三味線、樽太鼓など日ごろの練習で鍛えた腕前を存分に発揮した熱演が披露されました。また、農産物品評会では、丹波篠山の特産品の山の芋の部、黒枝豆の部、そして秋野菜の部ごとに丹精込めた自慢の品が多数出品されました。今年は、黒大豆が近年になく不作と言われた中でも立派な枝と根の品が提出され、さすがプロと思わせるものでした。秋野菜でも天候不順にもかかわらず、白菜、キャベツ、大根をはじめいろんな野菜が出され、最後は格安で皆さんに販売されました。

最後にお楽しみ抽選会があり、レストランのお食事券などの賞品が子供たちにもあたり、大いに盛り上がりました。その他、会場では、まち協 10 年の歩みの写真、小学生の写生の作品、パッチワーク作品の展示、また JA 味土里館の米っ粉パンやアグリステーションのおはぎや赤飯の販売もあり、にぎやかな催しに花が添えられました。

なお、品評会で表彰を受けられた方は、次の通り。（敬称略）

	まち協会賞	自治会長会賞	JA 丹波ささやま丹南支店賞
黒枝豆の部	畑中源文（小枕）	畑中卓也（小枕）	岸本康宏（真南条中）
山の芋の部	佐圓茂雄（宇土）	西山幸治（小枕）	酒井由雄（真南条中）
秋野菜の部	西山幸治（小枕）	酒井弘司（栗栖野）	溝畑久男（宇土）



平成 30 年 9 月 23, 24 日

「伊能忠敬・五国の足跡フォーラム in 笹山」が篠山で開催されました。

1 日目は、伊能忠敬笹山領探索の会会長 加賀尾宏一さん他、兵庫県内から 8 団体がそれぞれの活動の紹介を通して県内の連携を深められました。参加団体の中には、測量士による測量学習、当時の道具までも作った団体もありました。目先のことに拘泥されることなく強い信念のもと事業を押し通した忠敬の人柄、晩年の生き様に共感した人たちが篠山市福祉センター 2 階の会場が埋め尽くされました。

2日目は、篠山市内に設置された12の標柱巡りが行われ、周辺環境にマッチし整備された宇土の標柱では、佐圓正樹自治会長より宇土観音(弘誓寺)や測量の道を紹介していると、心地よい秋の日差しに誘われ参加者の希望で宇土観音にも足を運ぶことになり素晴らしい伽藍配置の中、檀家でもある自治会長による詳しい案内をしてもらいバスツアー気分を満喫していました。(紹介内容の詳細は、<http://www.jounan-sasayama.jp/> 資料書庫「宇土地区の名所紹介」)



平成30年9月23日(日)

前日の降雨により小学校の運動会が9月23日(日)に行われたため、予定していました体育大会が3年間続けて中止になりました。しかしまち協文化部主催のリサイクルバザーは同日コミセンで盛況に開催されました。

今年も各自治会から洗剤やタオル、衣類や食器類その他善意の品物約830点が寄せられました。当日は12時30分から開始し、多くの方が品定めをしながらお買い上げいただきましてありがとうございました。今年の売り上げは約4万円で、まち協の諸事業の経費として有効に活用させていただきます。ご出品願った方々及びご購入願った方々のご協力に感謝申し上げます。



平成30年9月9日(日)

恒例となっている成徳ふれまちとの交流事業の稲刈り体験が9月9日(日)あいにくの雨天にもかかわらず実施されました。2日前から秋雨前線の停滞でお天気を心配していましたが、案の定当日も朝から雨が降ったりやんだりの天候で、開催するかどうか双方のスタッフが大いに悩みましたが、日がないということで強行することとしました。

当日は、料理スタッフは前日の仕込みに次いで8時から昼食準備、男性スタッフは、8時30分から雨天の中稲刈りの準備、さつまいも掘りのためのつる切り、昼食のためのテーブルの設置などの作業に奔走していただきました。今回も市役所支援職員の方も野々村部長以下3名の方々に応援に駆けつけていただき大変お世話になりました。10時30分、成徳

から大人子ども合わせて約70名が大型バス1台とマイカー数台でアグリステーションに到着しました。みんな雨合羽や長靴など雨準備もして気合十分です。丁度このころ、大雨警報が発令されましたが、雨も小降りであったので早速野中の圃場に向かいました。圃場の提供とお米作りの指導をいただいている大西様の作業の説明のもと、鎌で稲刈りの作業、刈った稲を束にくくる作業、それを稲木にかける作業など降りしきる雨の中を約30分奮闘し、農作業の大変さを体験したと思います。再びアグリステーションに戻り雨が激しくなった11時30分ごろから昼食が始まりました。メニューは、枝豆・栗入りなど種類のおにぎり、丹波篠山産の野菜の天ぷら、ジャガイモのピザ、具たくさんの豚汁、縞ウリ（ドイツウリ）の漬物などです。地元の野菜をふんだんに使った手作りのお昼ご飯は従来からとても評判がよく、これを楽しみに参加する人も多いようです。午後のさつまいも掘りは、悪天候のため中止となり、コミセンで篠山の紹介ビデオなどを見てお開きとなり、午後2時ごろ帰路に着かれました。今回は大雨というハプニングの中、準備や接遇などに大変奔走いただいた関係者の皆さんにお礼申し上げます。



平成30年8月28日（火）

いきいき倶楽部継続は健康なり。「真南条中いきいき倶楽部」は平成29年11月21日からスタート、市内で35番目、城南地区で3番目に実施。開催日は毎週火曜日9時30分から公民館で行い、9名のスタッフの努力もあり、常に12人程度が参加されています。当初、スタッフも体操を覚えるに一苦労でしたが、今ではお互いに慣れてリーダーとして頑張っています。体操の前には必ず、脳活ゲームや全員円になって行うゲームなど行い、いきいきデカボー体操を含め約1時間、集って・動いて・楽しんでいきます。毎週火曜日待ち遠しい参加者が多く、このいきいき倶楽部が生活のリズムとなり、いきいき倶楽部の目標どおり、元気になられた方も多くあり大変喜ばれています。8月28日には体力測定も行い、参加者個々の毎週の積み重ねが成果として現れ楽しみにされていました。

